

私たちの ロッテミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと



サステナビリティレポート
2026



私たちの ロッテミライ チャレンジ2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと



株式会社ロッテは2048年に創業100周年を迎えます。

現在も世界が激変する中、

今後訪れる不確実な未来で私たちはどうあるべきか、

どうなっていないと生き残れないか、

そして、どうなりたいかを真剣に議論しました。



議論した結果から

創業100周年の私たちのありたい姿を、

パーパスを起点とした

3つのサステナビリティビジョンとして整理しました。

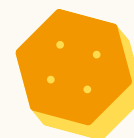


SCM本部
物流部 部長
山本 豊

ロッテホールディングス
法務部法務グループ
法務チーム
小柳 菜穂

マーケティング本部
第一ブランド戦略部
ガーナブランド課 主査
飯田 一輝

営業本部 業務部
事務サポート課
阿部 早苗



中央研究所
噛むこと研究部 主査
川村 淳



お客様の選択がしあわせな未来に
つながるようにブランドを進化させる

お客様が私たちの製品やサービスを選択する、
その積み重ねがお客様のしあわせな未来につながっていく、
そんな未来を実現するために、新たな価値を探索しながら、
バリューチェーンに関わるすべてを持続可能なものに進化させていきます。

生産本部 生産戦略部
生産戦略課 主査
金丸 由布子



人と人をつなぎ
持続可能な地球を実現する

私たちのビジネスは、私たちだけで完結するものではなく、
バリューチェーンを構成する多くのステークホルダーと連携しています。
私たちが主体的にステークホルダーをつなぎ、巻き込み、
互いに学びながら持続可能なビジネスへの転換を一緒に目指していきます。



多様な人財が集い、独創的な
アイデアを生み出す会社になる

2048年の未来でもイノベーションによる成長を続けるために、
多様な人財が集い、思う存分力を発揮してもらえる会社でなくてはなりません。
ロッテで働きたい、ロッテで働いてよかったと思ってもらえるよう、
私たちは進化し続けます。



ロッテホールディングス
人事部 労政グループ
労務厚生チーム リーダー
洲崎 彩



ロツテ ミライ チャレンジ 2048

創業100周年に向けた 取り組みハイライト

2024年度よりLOTTE Family Dayを開催

本社および浦和工場にて、ロッテグループの従業員を支える家族やパートナーへの感謝の想いを込めて2024年度より毎年LOTTE Family Dayを開催しています。毎年、内容を拡充しながら継続しています。



環境に配慮したパッケージへアップデート

2024年度に、チョコパイパーティーパック、カスタードケーキパーティーパック、トッポ袋のパッケージに使用するプラスチック量を削減しました。これにより、3製品合わせてプラスチック使用量を年間約88.7トン*削減しました。今後も環境に配慮したパッケージへのアップデートを行っていきます。

*2025年度の調達実績をもとに試算。



ロッテ ミライチャレンジ2048策定

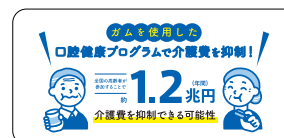
サステナビリティビジョンや目標の検討にあたっては、実際にその時代を支える世代の声が重要と考え、若手から中堅の社員で構成したプロジェクトチームを中心に議論を進めました。

2024

2023

「噛むこと」の普及による 社会的インパクト推計を発表

2025年10月に、ガムを使用した口腔健康プログラムによって期待される一人当たりの介護費抑制効果は年間約4.2万円で、全国の65歳以上の要介護でない高齢者全員が本プログラムに参加すれば、最大で年間約1.2兆円の介護費を抑制できる可能性があることを発表しました。



口腔健康プログラムとは、1日3回、2.5か月のガム咀嚼を含むお口のエクササイズと1か月に1回の介護予防教室を組み合わせた健康プログラムのこと。
愛知県豊田市の実証事業結果を全国の高齢者に拡大推計し、オーラルフレイルおよびフレイルの予防・改善に伴う介護費抑制効果を試算（ロッテ調べ）。

2025

2048
創業100周年

国内外の工場に 太陽光発電設備を設置

脱炭素の実現に向け、太陽光発電設備の設置を進めています。2025年度には新たに、滋賀工場に約450kW、プカシ工場（インドネシア）に約730kWの発電容量を持つ設備を設置しました。



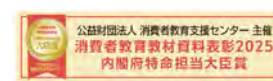
カカオ豆調達地の 森林モニタリング開始

スマートフォンのGPSアプリを用いてカカオ農園をマッピングし、衛星情報などを用いて森林減少への関与を確認するモニタリングを開始しました。リスクが高い農園については、サプライヤーと事実関係を確認し、状況改善に向けた対応策を検討していきます。



「エシカル消費」をテーマとした食育教材が 「内閣府特命担当大臣賞」を受賞

中学校を対象にした教育支援プログラム「あなたの『選ぶ』から創るしあわせな未来」が消費者教育支援センターが主催する「消費者教育教材資料表彰2025」において、最も優れた教材として「内閣府特命担当大臣賞（企業・業界団体部門）」を受賞しました。



TOP MESSAGE

トップメッセージ



「お口の恋人」には、
「永遠に愛される存在になるために、
これから先も『愛』を届ける」という
強い想いが込められています

代表取締役社長執行役員

中島 英樹

有事へのレジリエンスとしての 「持続可能な調達」

● ● ●

昨今、事業環境の不確実性はますます高まっています。特に足元で起きているホルムズ海峡をめぐる地政学的な緊張は、ナフサの供給不安や価格の高騰を引き起こし、様々な産業のサプライチェーンに多大な影響を及ぼしており、当社も例外ではありません。このような激動の時代において、当社が推進している「持続可能な調達」の取り組みは、人権や環境におけるリスク対策のみならず、菓子やアイスを安定的にお客様にお届けし続けるための「有事へのレジリエンス」であると再定義しています。

主力事業であるチョコレートに欠かせないカカオ豆については、西アフリカでの不作等に伴う歴史的な相場高騰に見舞われました。しかし、私たちがこれまで長年続けてきた児童労働の撤廃、森林減少の防止、そして生産性を高めるための営農指導といった支援活動を行ってきた地域では、不作の影響が相対的に少なかったという現地からの報告もあります。これはまさに、私たちが取り組んできたサステナビリティ活動が、有事のレジリエンスとして有効であったという確かな手応えです。今後はこの支援地域をさらに拡大させるとともに、調達地の多角化によるリスク分散なども進めてまいります。また、冒頭で触れたナフサの供給不安に対しても、

現在検討を進めているパッケージの脱プラスチックや環境配慮型素材への移行が、結果として化石資源への依存を減らし、地政学リスクへの対応につながると考えています。

これらの「持続可能な調達」の取り組みは、カカオ豆以外の原材料にも拡大しつつあります。「雪見だいふく」に使用しているもち米や、「のど飴」に使用しているカリン、ガムに使用する天然チクルなどの原材料において、生産地の抱える課題に、その地域とともに取り組むプロジェクトも進めています。これらの取り組みは、不確実な外部環境の変化に左右されない強靱な事業基盤の構築に直結するものです。私たちは今後も歩みを止めることなく、この取り組みを加速させてまいります。

「噛むこと」の価値を探求し 社会へ拡げていく

● ● ●

私たちのコーポレートメッセージである「お口の恋人」には、「永遠に愛される存在になるために、これから先も『愛』を届ける」という強い想いが込められています。2023年に策定したパーパスが「しあわせな未来をつくる。」という言葉で結ばれているのも、この想いを体現するものです。「しあわせな未来」という言葉には、持続可能な地球と社会、そしてそこで暮らす人々の豊かな

暮らしに貢献するという私たちの決意が表れています。そして、そのための最もロケットらしいアプローチが「噛むこと」の普及による人々の心身の健康への貢献です。昨年、当社はこれまでの研究成果をもとに、ガムを使用した口腔健康プログラムが将来的な介護費の抑制に寄与するという推計結果を発表しました。「噛むこと」の価値を探求し社会へ拡げていくことは、人々の健康寿命を延ばし、社会課題解決に貢献するという大きな社会的意義を持っています。実は私自身も90歳になる両親の健康を願い、いつまでもお口の健康を維持し続けてほしいという想いから、定期的にガムを送り続けています。こうした「噛むこと」の価値を社会へ実装していくため、今年から「チューイング改革プロジェクト」を部門横断で発足させました。関連する知見やエビデンスを一元化し、社内外へその価値を積極的に発信していく活動を進めていきます。「噛むこと」の重要性は多くの企業や団体から共感を得ているほか、市民の健康保持増進を目指す20以上の自治体とも連携協定を締結しています。「噛むこと」の普及による人々の心身の健康への貢献を、会社全体で一層力強く推進していきたいと考えています。

誰もが自分らしく能力を発揮できる 組織風土づくり

● ● ●

これらの取り組みを実行し、持続可能な成長を実現するための最大の推進力は「人材」にほかなりません。私は従業員エンゲージメントを重要な経営指標と捉え、

従業員のみなさんの声から目を背けず、真摯に向き合い改善していくことをお約束してきました。今年は従業員エンゲージメントスコアに確かな向上の兆しがみられ、社内のポジティブな変化を私自身も肌で感じています。先日、社外の方から「ロッチは社員同士の仲が本当にいいですね」というお言葉をいただき、大変嬉しく思いました。これは、多様な働き方の実現に向けた制度拡充や女性活躍の推進、男性の育児休業取得の促進をはじめ、LGBTQ+などあらゆる個性を尊重するダイバーシティ推進など、誰もが自分らしく能力を発揮できる組織風土づくりに地道に取り組んできたことが、着実に実を結び始めた証だと捉えています。

また、社会とつながりを持つことも企業にとっては非常に重要です。昨年は私自身が食育講師として実際に教壇に立ち、小学生に対して授業をする機会を持ちました。現場で子どもたちと対話する中で、我々の事業は、世代を超えて共通の話題となる貴重なものだ改めて感じました。また、日々の業務とは異なる視点から、自社の事業が社会に与える影響の大きさと、商品の持つ真の価値を再認識することができました。現在の業務を継続しながら出張授業を行う食育兼任講師は、自分たちの仕事の意義や商品の価値を改めて実感できる非常に良い機会です。ぜひ多くの従業員に挑戦してみたいと思っています。

今後も社会と接点を持ちながら、ステークホルダーの皆さまとともに持続可能な成長と企業価値の向上に挑戦してまいります。引き続き、皆さまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



埼玉大学教育学部附属小学校
(さいたま市浦和区)で実施された
食育出張授業の様子(2025年12月)

私たちが考える「しあわせな未来」

私たちが考えるしあわせな未来は、人々が心身ともに健康で、
地球環境や社会と調和した持続可能な未来です。サステナビリティビジョンを実現し、
しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。
私たちのロッテ ミライチャレンジ2048が動き出しています。

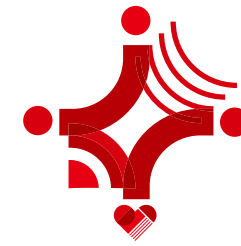


しあわせな未来への道筋

6つのマテリアリティと目標(ロッテ ミライチャレンジ2048)は、
サステナビリティビジョンの実現を通じて、
パーパスで掲げるしあわせな未来につながっています。



LOTTE Purpose

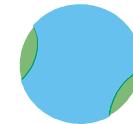


- ✦ 独創的なアイデアと
- 〰️ こころ動かす体験で
- 👤 人と人をつなぎ、
- 💖 しあわせな未来をつくる。

サステナビリティビジョン



お客様の選択がしあわせな未来につながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な地球を実現する



多様な人財が集い独創的なアイデアを次々と生み出す会社になる

6つのマテリアリティ



心身の健康

これまで培ってきた「噛むこと」などの食と健康に関する知見やおいしさの技術を基盤に、新たな価値への挑戦を続け、人々のウェルビーイングに貢献します。



持続可能な調達

ステークホルダーとともにサプライチェーンにおける環境や人権に関する課題の解決に努め、持続可能なサプライチェーンを実現します。



サーキュラーエコノミー

原材料の調達から消費、廃棄までのバリューチェーン全体において環境に与える負の影響を最小化させるとともに、サーキュラーエコノミーの実現を目指します。



脱炭素

ステークホルダーと連携し、自社およびサプライチェーンから排出される温室効果ガスを実質ゼロにし、脱炭素を実現します。



社会とつながる

様々なステークホルダーとの共創や社外との交流を通じて、社会に貢献しながら従業員および組織の成長を図り、社会課題の解決を加速させます。



人財

企業競争力の源泉であるイノベーションを継続的に創出するために、DEIの推進や働きやすさと働きがいの向上に努め、多様な人財が働きたいと思える職場を実現します。

ロッテミライ チャレンジ2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと

サステナビリティビジョンを実現し、しあわせな未来をつくるため、創業100周年(2048年)までの目標を掲げました。この目標は、進捗や社会の変化に合わせて定期的に見直し、抽象的な目標を具体的にアップデートしていきます。



100周年目標

2048年度

90周年目標

2038年度

80周年目標

2028年度

現在の進捗

2025年度

*1 ロッテ サステナブルカカオ(LSC)：農家までのトレーサビリティが確立されたカカオ豆のこと。LSCの調達先に対して、生産地が抱える課題への支援を展開している。

*2 Scope：GHGプロトコルに基づく排出量の算定範囲。

*3 アンケート対象者 2,919名、有効回答数 1,581件、食育活動等参加者数 330名
食育活動、食育以外のセミナー、地域・社会貢献活動を行った人数。

*4 エンゲージメント・レーティング：企業と従業員のエンゲージメント(相互理解・相思相愛度合い)を表す指標評価段階はAAA～DDまで11段階。

*5 親会社である株式会社ロッテホールディングスを集計対象に含む。



お客様の選択がしあわせな未来に
つながるようにブランドを進化させる



人と人をつなぎ持続可能な
地球を実現する



多様な人財が集い独創的な
アイデアを次々と生み出す会社になる



心身の健康

- ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる

- 噛むことによる健康増進が当たり前の社会を実現する
- 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる

- 噛むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによるチェック回数を年100万回以上に増やす

- 咀嚼チェックガムによるチェック回数 54万回



持続可能な調達

- すべての原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 主要な原材料で持続可能なサプライチェーンを実現する

- 調達するすべてのカカオ豆の生産地域把握と地域が抱える課題への支援(ガーナ産は2025年度までに)

- ロッテ サステナブルカカオ(LSC)*1 調達率 84%(うち、ガーナ産 100%達成)



サーキュラーエコノミー

- 容器包装に使用する石油由来使い捨てプラスチックをゼロにする
- ステークホルダーと連携して食品ロスおよび食品廃棄物(FLW)を最小化する

- 容器包装に使用するプラスチックを最小化、または、リサイクル可能な設計に変更する

- 主要な3製品で容器包装をアップデートする
- FLW 削減率 50%以上(原単位、2019年度比)

- 部門横断のプロジェクトチームを組成し、容器包装をアップデートする製品を検討中
- FLW 削減率 24%(原単位、2019年度比)



脱炭素

- カーボンニュートラルを実現する(Scope*2 1+2+3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 62%以上(Scope1+2、2019年度比)
- サプライチェーンGHG排出量削減率 50%以上(Scope3 主なカテゴリー)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 23%以上(Scope1+2、2019年度比)
- 削減可能な一次データを用いたサプライチェーンGHG排出量算定を実現する(Scope3)

- エネルギー起源CO₂排出量削減率 17%(Scope1+2、2019年度比)



社会とつながる

- 社外との共創を個人および組織の成長につなげ、社会課題の解決に貢献する

- バリューチェーン全体の脱炭素やサーキュラーエコノミーの実現に一人ひとりが貢献する
- 経験やスキルを社会に還元し、社外での多様な経験を個人および組織の成長につなげる

- 役員および社員の環境研修受講率 100%
- 社員の食育活動等参加率 20%以上(株式会社ロッテ、期間中1回以上)

- 役員向け環境研修実施
- 社員向け環境研修実施
- 社員の食育活動等参加率 20.9%(株式会社ロッテ 正社員・嘱託社員へのアンケート調査*3)



人財

- 多様なグローバル人財が集い、活躍する職場を実現する

- 男女間賃金格差を是正する
- 働きたい会社として社会に認知される

- 国内女性管理職比率 10%以上
- エンゲージメント・レーティング*4 A以上(株式会社ロッテ)

- 国内女性管理職比率 9.1%*5
- エンゲージメント・レーティング BBB(株式会社ロッテ)



A Happy Cycle with Cocoa

A Happy Cycle with Cocoa

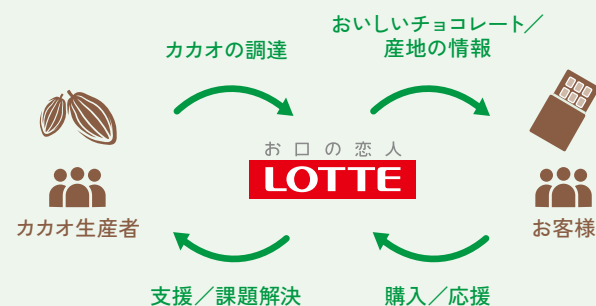


チョコレートが主力製品である当社にとって、カカオ豆の持続可能なサプライチェーンの実現は重要な経営課題です。カカオ豆の生産地は、児童労働や森林減少、異常気象による収量減少など様々な課題を抱えており、当社は現地との対話を重ねながらこれらへの対応を進めています。



生産者とお客をつなぐロッテの使命

チョコレートに関わるすべての人々のしあわせに貢献することが当社の使命です。チョコレートを食べていただくお客様の共感と理解を得ながら、ともにカカオを取り巻く課題解決を推進し、持続可能な未来へとつながる「カカオのハッピーサイクル」の実現を目指しています。



お客様の共感や理解を促進するため、一部チョコレート製品のパッケージには、情報発信サイトへの2次元バーコードを掲載しています。

持続可能なサプライチェーンの実現



農家まで追跡可能なトレーサビリティが確立されたカカオ豆をロッテ サステナブルカカオ (LSC) と名付け、その調達割合を拡大することにより、カカオ豆の持続可能なサプライチェーンの実現を目指しています。同時に、LSC調達地が抱える児童労働や森林減少、病虫害による収量減少等の様々な課題の解決に向けた支援を行っています。

調達地の課題と支援策

▲課題 ●支援

ベネズエラ

▲森林減少 ●森林減少の確認

コートジボワール

▲児童労働 ●児童労働モニタリング
▲森林減少 ●森林減少の確認
▲農家の収入 ●営農指導

インドネシア

▲カカオ豆の品質 ●高品質なカカオ豆生産支援（発酵指導）
▲老木化による生産性の低下 ●営農指導
▲森林減少 ●森林減少の確認

ガーナ

▲児童労働 ●児童労働モニタリング
▲森林減少 ●森林減少の確認
▲農家の収入 ●営農指導

パプアニューギニア

▲森林減少 ●森林減少の確認
▲農家の収入 ●営農指導

農家の方々やその地域が抱える真のニーズに応えたい

当社では50年以上前からガーナのカカオ農家を訪問し、現地支援を続けています。活動の初期は資金援助が中心でしたが、カカオを取り巻く課題の解決に取り組むため、独自のプログラムをスタートしました。

営農指導や井戸の建設など、地域の課題に合わせた支援を行っています。こうした地道な取り組みは、近年の天候不順や病虫害による不作の際にも、収穫量の落ち込みを防ぐレジリエンスとして実を結びつつあります。今後も、カカオに関わるすべての人々のしあわせに貢献できるよう、現地との対話を重ねながら取り組んでまいります。





ガーナでの取り組み

当社の主要な調達地であるガーナでの取り組みをご紹介します。



01. 子どもたちの未来を守る

児童労働モニタリングと是正

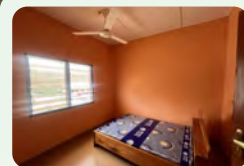


ガーナでは、カカオ農園での児童労働が社会課題として指摘されています。CLMRS*等のモニタリングシステムを導入し、子どもたちが危険を伴う労働に従事することなく、適切な教育を受けられるよう、継続的にモニタリングしています。発見された課題に対して、地域や家庭に応じた対策を講じています。

*CLMRS：児童労働監視改善システム（Child Labour Monitoring and Remediation Systems）の略。カカオ産地で児童労働撤廃のための活動を推進するNPO団体のInternational Cocoa Initiative（ICI）が開発したシステムで、農家コミュニティ単位での児童労働リスクを把握・改善する仕組み。

教員宿舎

ガーナのジュリグン地区(LSC調達地の一つ)で、校舎の老朽化や教員不足によって事実上廃校状態の学校が発見されました。これにより、地域の児童労働リスクが高まっていたため、官民連携プロジェクト*で教育環境の整備を行いました。当社は学校教員の新宿舎を建設することで教員の確保を支援し、子どもたちが安心して学べる環境づくりに貢献しています。



*官民連携プロジェクト：本プロジェクトは外務省の推進する「草の根・人間の安全保障無償資金協力」の案件である「ジュリグン基礎学校校舎建設計画」との連携プロジェクト。

ガーナの小学校で実施したワークショップでは、保護者の方にもご参加いただきました。子どもたちから日頃の感謝の気持ちとしてチョコレートを渡され、保護者の方々が大変喜ばれていた様子が印象的でした。今後もロットは、「A Happy Cycle with Cocoa」の活動を通じて、子どもたちをはじめ、チョコレートに関わるすべての人に笑顔をもたらす取り組みを進めてまいります。

マーケティング本部
第一ブランド戦略部
ガーナブランド課 主査
飯田 一輝

ノートの寄付とワークショップの実施

2025年12月にガーナの小学校を訪問し、オリジナルノートの寄付と当社社員による特別授業を実施しました。現地のカカオ豆が日本でおいしいチョコレートになり、感謝や愛情を伝えるツールとして、世界中の人々を笑顔にしていることを子どもたちに伝えました。



02. 豊かな森林を守る

LSC調達地では、カカオ農園が森林減少に関与していないか下記のステップで確認しています。

STEP 1 マッピング

専用のスマートフォンアプリ等を活用し、農園の境界線を実際に歩いてGPSデータを取得することで、各農園の正確なマッピングデータを収集

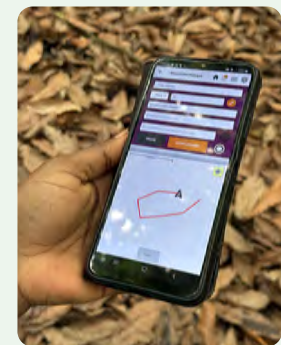
STEP 2 モニタリング

マッピングデータを衛星情報と照らし合わせることで、森林減少への関与リスクを確認

STEP 3 現地調査

高リスク判定された農園に対し、自社またはサプライヤーによる現地調査を実施

これまでの現地調査の結果、LSC調達地では森林減少に該当する事例は確認されていません。今後もモニタリングを継続していきます。



03. 産地が抱える課題への支援

バイオ炭の挑戦

当社、不二製油株式会社、株式会社MCアグリアライアンスおよびolam food ingredientsの4社は共同で、カカオ農園で発生する未利用の副産物であるカカオポッド(カカオの実の外殻)をバイオ炭として有効活用する実証実験を進めています。バイオ炭は、土壌の透水性、保水性、通気性を改善し、生物多様性の再生や肥沃化を促進する効果があり、化学肥料や農薬の使用量削減、生産性向上が期待されます。また、アルカリ性のバイオ炭を散布することで、アフリカの酸性土壌をカカオの生育に適した中性に近付ける効果も期待されます。さらに、難分解性の炭素を含むバイオ炭により長期間炭素が土壌に固定されることで、脱炭素効果も期待されます。



バイオ炭にするために乾燥させたカカオポッド(例)



噛むこと



当社は、戦後にチューインガムで創業し、今日まで「噛むこと」についての研究を重ねてきました。その結果として、「噛むこと」が全身の健康と密接に関わっていることが分かってきました。「噛むこと」が健康に与える良い影響について研究・発信し、「噛むこと」の普及を通してウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくっていきます。

「よく噛んで食べなさい」「噛むことは良いことだ」
昔から言われてきたその言葉には、
大事な理由があることが、分かってきました。

なぜ噛むことが大切なの？

日本では高齢化が進み、できるだけ長く元気に過ごす「健康寿命」を延ばすことが大きな課題になっています。年を重ねると、体や心が弱っていく「フレイル」という状態になりやすく、生活の質が下がってしまいます。実は、このフレイルを防ぐために「噛むこと」がとても重要なのです。最近では、柔らかい食べ物や早食いの影響で噛む回数が減る「噛む離れ」が進んでいると言われており、噛む力の低下による様々な全身の健康への影響について専門家が警鐘を鳴らしています。

脳とこころ	からだの健康	お口の健康	美容	スポーツ
噛むことやそのリズム運動が脳を刺激し、集中や記憶力、ストレスなどに影響します。	噛む力の低下は、肥満や生活習慣病のリスクが高まることが報告されています。	噛むことは、唾液による良好な口腔環境、口腔機能の発達、維持に深い関連性があります。	よく噛むことがダイエットやフェイスライン・肌の弾力アップにつながります。	バランス能力、リラックス効果など、選手たちのパフォーマンス向上につながります。

自治体・歯科医師会との取り組み



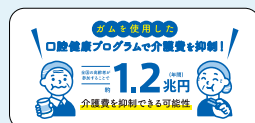
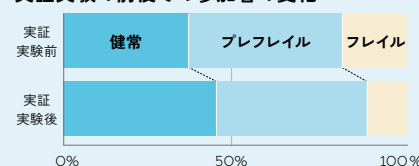
「噛むこと」の普及の一環として、自治体や地域の歯科医師会との連携を進めています。「噛むこと」の健康効果に関する情報提供等を通じて、地域住民の歯と口の健康づくりを啓発・推進することで、健康寿命の延伸に貢献していきます。

「噛むこと」による社会的インパクト推計

チューインガムを使用した口腔健康プログラム^{*1}の普及がもたらす介護費抑制効果を推計しました^{*2}。愛知県豊田市での実証事業のデータから、プログラム参加によって期待される一人当たりの介護費抑制効果は年間約4.2万円です。もし全国の65歳以上の要介護でない高齢者全員が本プログラムに参加すると仮定すると、最大で年間約1.2兆円の介護費抑制効果を生み出す可能性があることが分かりました。本プログラムは他の運動介入等と比較して実施が容易であり、本試算結果から健康寿命延伸への入り口として重要な社会的インパクトをもたらすことが期待されます。

少子高齢化の世の中において、「噛むこと」が大きな社会的インパクトを生む可能性が示唆されました。今後も「噛むこと」を健康習慣として取り入れる人を増やせるよう、研究と情報発信を一層推進してまいります。

実証実験の前後での参加者の変化



^{*1} 口腔健康プログラムとは、1日3回、2.5か月のガム咀嚼を含むお口のエクササイズと1か月に1回の介護予防教室を組み合わせた健康プログラムのこと。

^{*2} 愛知県豊田市の実証事業結果を全国の高齢者に拡大推計し、オールフレイルおよびフレイルの予防・改善に伴う介護費抑制効果を試算（ロrette調べ）。

社会に向けた啓発活動

「噛むこと」の重要性を広くお伝えするための啓発活動を推進しています。より多くの方々に知っていただくきっかけづくりとして、主に以下の取り組みを行っています。

自治体や歯科医師会と連携したセミナー・イベントの実施

2025年度は計171回実施しました。「噛むこと」をテーマとしたセミナーや、咀嚼チェックガムの体験ブースを出展しています。

メディアを通じた情報発信

インフォーマーシャルの放送などを通じて、幅広い層に向けた啓発活動を展開しています。



従業員向け啓発活動

従業員向けにも「噛むこと」の啓発活動を推進しています。WEB社内報では、研究結果だけでなくエビデンス構築の裏側も楽しく伝え、理解を深めています。さらに、全従業員への「噛むことマイボトル」配布やお口の機能測定会（舌圧と咬合力の測定）の実施、本社食堂での「噛むことメニュー」の提供など、社員自身が日々の生活の中で自然と「噛むこと」を実践できる環境づくりに取り組んでいます。



社内で実施した
お口の機能測定会の様子



食育

様々な食育プログラムを展開しています。



ロッテ ミライチャレンジ2048では、様々なステークホルダーとの共創や社外との交流を通じて、社会に貢献しながら従業員および組織の成長を図り、社会課題の解決を加速させることをマテリアリティの一つに掲げており、2028年までに社員の食育活動等参加率を20%以上とすることを目指しています。食育活動を通じて、これからの社会を担う子どもたちと共にしあわせな未来をつくっていきます。

出張授業

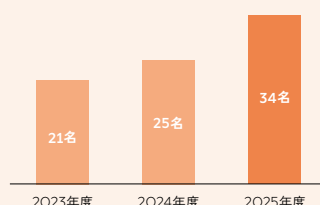
ロッテ イノベーションチャレンジ～未来のおかし開発室～

小学校高学年向けに、商品開発をする上で大切な考え方などを通じて、創造的思考力の育成につながる授業を行っています。中心となって進めている食育推進課のメンバーに加えて、営業や生産部門など様々な社員も通常業務と並行して兼任講師として活躍しています。2025年度には、代表取締役社長執行役員の中島も兼任講師を務めました。



兼任講師の人数

全国各地で世代や職種を問わず多様な人材が活躍しています。



ロッテのおかし開発の考え方を通して、これからの社会で大切な「課題解決のアイデアを創出する力」を育む一助になればと願っています。授業を通じて子どもたちからたくさんのエネルギーをもらい、それが日常業務においても私自身の大きな活力となっています。

営業本部 業務部
事務サポート課
阿部 早苗
2023年度より兼任講師として活躍中



工場見学

ロッテ おかしの学校

浦和工場では、工場見学を受け入れています。工場見学では、製造の現場を実際に見学していただくとともに、SDGsへの貢献の取り組みなどをご説明しています。2022年の見学施設リニューアル以来、多くの来場者様からご好評をいただいています。これからも皆さまへ、心に残る感動体験をお届けしてまいります。

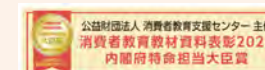


教材提供

あなたの「選ぶ」から創るしあわせな未来

「あなたの『選ぶ』から創るしあわせな未来」は、エシカル消費をテーマとした中学生向けの教育プログラムです。当社は、サプライチェーン全体で、地域や環境に配慮した取り組みを進めています。これらの事例を教材としてこれからの社会を担う生徒のみなさんにお届けすることで、「選ぶ」と社会とのつながりに気づき、未来に向けて、「自分はどのような消費行動を選択するか」について深く考える機会を提供しています。先生方用の指導案やスライド教材、映像教材、WEBサイト教材を提供し、実際に学校と連携することにより実施・展開しています。

同プログラムは、公益財団法人消費者教育支援センター主催の「消費者教育教材資料表彰2025」において、最も優れた教材として内閣府特命担当大臣賞を受賞しました。

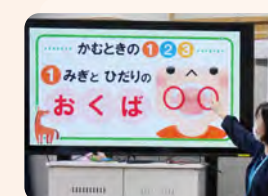


受賞のポイント

ICT端末を利用し、生徒が自分の興味関心に合わせて調べ学習ができる。また、エシカル消費のキーワード(人・社会、環境、地域への配慮)について分かりやすく整理されており、深い学びへとつながることが期待される。教師用スライドも使いやすい。

めざせ！かむことマスター

「噛むこと」の大切さや、よく噛むために大切なことを知り、よく噛むことの習慣化を目指す、小学校低学年向けの教材です。自治体を目指す健康寿命延伸施策と連動し、幼保園向け教材も開発し、自治体と連携した水平展開を進めています。





グループで取り組む ロツテ ミライ チャレンジ 2048

メリーチョコレート カムパニー



展示用サンプルのアップサイクル

ファンシーチョコレートのリニューアルに際して不要になった展示用の樹脂サンプルを廃棄せず、素材として再活用しチャームを制作しました。通常は廃棄されてしまうサンプル22,700個分、総重量にして約150kgをアップサイクルすることができました。こうして作られたチャームは、リニューアルした商品をご購入いただいたお客様へのプレゼントに生まれ変わりました。



銀座コージーコーナー



小麦と卵と乳を使わないケーキ

2013年より“スイーツですべての人を笑顔に”というテーマのもと、食物アレルギーを持った方にも安心して召し上がっていただけるケーキづくりを開始しました。小麦粉、卵、牛乳の代わりに米粉、大豆粉、豆乳を使用したケーキの販売を続けています。2025年には材料や配合を工夫することで「小麦と卵と乳を使わないデコレーション」をリニューアルし、これまでにないおいしさを実現しました。



タイロツテ



地域社会への支援

1月第2土曜日のこどもの日に開催されるイベントに合わせ、アマタ工場のあるアマタ工業団地にお菓子の寄付を行いました。また、少数民族の支援から人身売買防止活動、IT教育の支援まで多角的な福祉活動を行っているミラー財団(1991年創立)に対して寄付を実施しています。



ロツテインドネシア



児童施設とのイベント開催

現地の児童養護施設の方々を会場に招待し、当社製品等の寄贈や断食明けと一緒に祝うイベントを開催しました。子どもたちに喜んでいただけるだけでなく、当社社員が社会への貢献を実感できる機会となっています。



ロツテベトナム



ベトナム歯科医師会とのキシリトール啓発活動

2016年よりベトナム歯科医師会(VOSA)と連携し、累計90回以上の研修・啓発イベントを開催しています。歯科医監修のもと、キシリトールの機能と、大切な歯を守るための正しい知識を伝え、学生・医療従事者ら7,000名以上の口腔ケア意識を高めました。



啓発イベントの様子

台湾楽天製菓



野生動物保護の支援

台北動物園の野生動物保護活動を支援する目的で、保護活動、治療、飼育環境の改善を支援する寄付を行っています。2023年より寄付を開始し、3年目となりました。



ロツテウェデル



見た目が規格外の製品の販売

ウェデルでは「Give Them a Chance」と題し、見た目が規格外の製品を、Eウェデル・チョコレートファクトリー・ミュージアムにて販売しています。パッケージには森林認証紙を使用し、シンプルなメッセージをデザインしています。この製品は世界的な評価を受け、英国のFIA UK Awardsの「Sustainability Produced Packaging」部門で金賞を受賞しました。環境負荷の低減と廃棄物の削減を図るとともに、持続可能な消費のあり方について考えるきっかけづくりをしています。



地域社会への支援

ウェデルでは長年、製品と資金の寄付を通じて地域社会への支援を行っています。2025年度は、ワルシャワフードバンク等に対し、約648万円分の製品寄付と、約1,244万円の資金寄付を行いました。



株式会社ロッテ

サステナビリティレポート2026(詳細版)のご案内

より詳細な情報を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/report.html>



会社情報

商号	株式会社ロッテ(LOTTE CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿3-20-1
創業	1948年6月
資本金	2億1,700万円
決算期	3月31日
従業員数	2,240名 6,976名(海外拠点・グループ会社含む) (2026年3月31日現在、海外および旧Dari K株式会社は2025年12月31日現在)